

<No21 : 地図編集>

次の文は、地図編集の原則について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 注記は、地図に描かれているものを分かりやすく示すため、その対象により文字の種類、書体、字列などに一定の規範を持たせる。
2. 有形線(河川、道路など)と無形線(等高線、境界など)とが近接し、どちらかを転位する場合は無形線を転位する。
3. 取捨選択は、編集図の目的を考慮して行い、重要度の高い対象物を省略することのないようにする。
4. 山間部の細かい屈曲のある等高線を総合描示するときは、地形の特徴を考慮する。
5. 編集の基となる地図(基図)は、新たに作成する地図(編集図)の縮尺より小さく、かつ最新のものを使用する。

<No22 : 地図編集>

次の文は、地図投影について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 平面上に描かれた地図において、距離(長さ)、方位(角度)及び面積を同時に正しく表すことはできない。
2. 投影法は、地図の目的、地域、縮尺に合った適切なものを選択する必要がある。
3. 平面直角座標系(平成 14 年国土交通省告示第 9 号)において、座標系の Y 軸は、座標系原点において子午線に一致する軸とし、真北に向かう値を正とする。また、座標系の X 軸は、座標系原点において座標系の Y 軸に直交する軸とし、真東に向かう値を正とする。
4. 投影法は、投影面の種類によって分類すると、方位図法、円錐図法及び円筒図法に大別される。
5. コンピュータの画面に地図を表示したり、プリンタを使って紙に地図を出力する場合も、投影法について考慮する必要がある。

<No23 : 地図編集>

図 23 は、国土地理院発行の 1/25,000 地形図の一部（縮尺を変更、一部を改変）である。この図に在る交番の建物の経緯度は幾らか。最も近いものを次の中から選べ。

ただし、図 23 の四隅に表示した数値は、経緯度を表す。

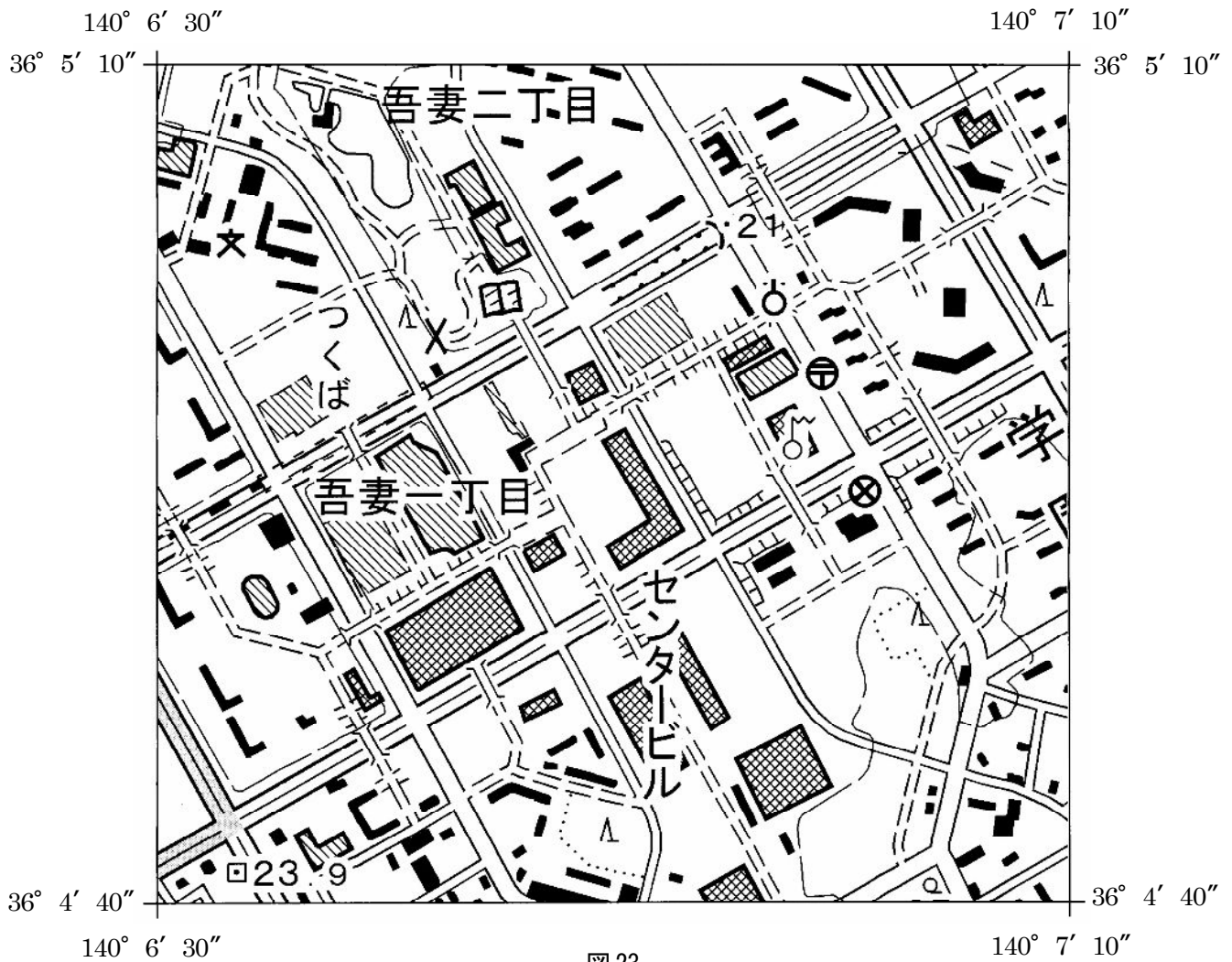


図 23

※印刷の関係上、縮尺が正確に補湯字されない場合があります。

	緯度	経度
1.	北緯 36° 04' 53"	東経 140° 07' 01"
2.	北緯 36° 04' 55"	東経 140° 07' 01"
3.	北緯 36° 04' 59"	東経 140° 06' 42"
4.	北緯 36° 05' 01"	東経 140° 06' 57"
5.	北緯 36° 05' 04"	東経 140° 06' 42"

<No24 : 地図編集>

GIS は、地理的位置を手掛かりに、位置に関する情報を持ったデータ（地理空間情報）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする情報システムである。

次の文は、様々な地理空間情報と GIS を組み合わせることによってできることについて述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 地中に埋設されている下水管の位置、経路、埋設年、種類、口径などのデータを基盤地図情報に重ね合わせて、下水道を管理するシステムを構築する。
2. 地球観測衛星「だいち」で観測された画像から市町村の行政界を抽出し、市町村合併の変遷を視覚化するシステムを構築する。
3. コンビニエンスストアの位置情報及び居住者の数に関する属性をもった建物データを利用し、任意の地点から指定した距離を半径とする円内に店舗されているコンビニエンスストアの数や居住人口を計算することで、新たなコンビニエンスストアの出店計画を支援する。
4. 植生分類ごとにポリゴン化された植生域データのレイヤとカモシカの生息域データのレイヤを重ね合わせることで、どの植生域にカモシカが生息しているかを分析する。
5. 構造化された道路中心線データを利用し、火災現場の位置座標を入力することにより、消防署から火災現場までの最短ルートを表示し、到達時間を計算するシステムを構築する。